

## 会告：企画研究小委員会 新規委員公募のご案内

研究運営委員長 目黒公郎（東京大学）

研究運営委員会では、2013年度の企画研究小委員会として、下記の2つの委員会を新たに設置し、この研究業務を担当する小委員会委員を公募することといたします。研究に参加を希望される会員は、研究調査計画の概要を参照の上、募集要領に従い、奮ってご応募ください。

### ■募集その1

- ・ 小委員会名：「被災地生活支援のための循環型非常食の考案と事例紹介」
- ・ 主査：守 茂昭（財団法人都市防災研究所）
- ・ 活動期間：2013年7月中～2016年3月末
- ・ 応募方法：下記(1)(2)を作成の上、件名を「地域安全学会小委員会委員応募」として E-mail にてご提出ください。
  - (1)氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
  - (2)委員会で果たせる役割と希望する活動内容
- ・ 応募締切：6月17日（月）必着
- ・ 採否：委員会で決定の上、本人に通知します。
- ・ 提出先および問合せ先：主査 守 茂昭、E-mail：ex4s-mr@asahi-net.or.jp

### ■募集その2

- ・ 小委員会名：「世界の復興計画比較研究小委員会」
- ・ 主査：大西 一嘉（神戸大学）
- ・ 活動期間：2013年7月中～2016年3月末
- ・ 応募方法：下記(1)(2)を作成の上、件名を「地域安全学会小委員会委員応募」として E-mail にてご提出ください。
  - (1)氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野
  - (2)委員会で果たせる役割と希望する活動内容
- ・ 応募締切：6月17日（月）必着
- ・ 採否：委員会で決定の上、本人に通知します。
- ・ 提出先および問合せ先：主査 大西 一嘉、E-mail：hukko.plan@gmail.com

■（参考）小委員会の活動計画の概要

「被災地生活支援のための循環型非常食の考案と事例紹介に関する小委員会」

背景・目的	防災倉庫に所蔵したまま賞味期限が来ると破棄される宿命にある多くの非常食は、ともすると被災時でさえ、利用されず、資源のムダとなっている場合が多い。非常食普及の壁を打破するには、このムダの解消をする方法が考案される必要があり、その方法論の考案と紹介を試みる。
活動計画	東日本大震災の被災地域の食材を生かし、被災地で不足しがちな栄養を簡単に補給し、避難場所であっても可能な限りレベルの高い、おいしい被災食を作る方法を考案、もしくは発掘し、紹介につとめる。 方法論としては奥田和子先生のような、自然災害に造詣の深い料理研究家を講師に迎えると共に、研究に従事するスタッフも、東日本大震災を中心とした被災地域から食材を発掘し、複数パターン料理方法を提案する。
研究体制	主査：守 茂昭（財団法人 都市防災研究所）

「世界の復興計画比較研究小委員会」

背景・目的	世界的に大災害が多発する中で、特にアジア、オセアニア地域一帯では、近年、大規模な被害をもたらす地震災害が頻発する状況にある。2011年の東北地方を襲った大震災では、地震に伴って引き起こされた多様な被災状況が、きわめて広範囲にわたって発生し、復旧復興の途上でも多くの困難と向き合うこととなった。本研究企画委員会では、それぞれの研究者が蓄積してきた内外の復興計画事例を持ち寄って国際的な観点から比較検討を行う共同研究を行うことで、より普遍的な復旧復興原則や理念を引き出そうとするものである。
活動計画	定期的に研究会を開催することにより活動を行う。事例研究分科会では海外復興調査研究の成果を会員で共有する。法制度研究分科会では、復興支援制度のフレームについての研究成果や実務者を招いた学習会などを通じて、支障となる課題の把握等を行う。こうした活動にもとづいて得られた成果を、公開報告会などを通じて広く社会的に還元していくものとする。
研究体制	主査：大西 一嘉（神戸大学）